

「自分を変えたい」

北海道北見柏陽高等学校 普通科1年 中山 大也

僕はアメリカでつかみとりたいものが3つあります。

1つ目は僕がアメリカに行きたい一番の理由になっていることで、それは進路実現のための経験です。今、僕にはなりたい職業があつて、自衛官か警察官になりたいと考えているのですが、消防士にも興味がありとても迷っている状態です。その中でも特に防衛大学校に進学したいという気持ちを強く持つようになっていきます。そう考えるようになったきっかけは僕の小学生時代にあります。

僕は小学生のころ、いじめを受けていました。意味もなく殴られ、無視されて、とてもつらくてやりかえすことも力がなくてできませんでした。そのため、我慢するしかなく、よく独りで泣いていました。そんな時、テレビで防衛大学校の密着番組をやっていて、それを見たとき僕は衝撃を受けました。教官が鬼のように怖く、生徒に罵声を浴びせていました。それでもその生徒はへこたれず、また苦しい訓練を続けていました。これを見て僕は今までの自分が弱すぎることを知りました。「こんな人間になりたい。」と強く思うようになり、防衛大学校へ進学したいという気持ちが強くなりました。ですが、今のままでは進路選択に自信が持てません。このホームステイで、アメリカ人の日本に対する考えや、進路選択に関わる話を聞き、様々な経験を通して自分の考えを見つめ直すことで、本当にやりたいのはどんな仕事なのかを改めて詳しく考えたいと思っています。

中学2年生の時に、クラスの中で仲間外れにされた友達がありました。その子はほかの人と考え方が違っただけで何も悪くはありません。それなのに仲間外れにされるのは変だと思った僕はどうにか誤解は解けないだろうかと考えましたが、もし意見して

今度は自分が被害にあうのではと意思をためらってしまいそのまま友達の誤解は解けず、完全にその子は周りから嫌われてしまいました。それで僕は罪悪感を無くせないまま今に至ります。

そんな経験があるため、2つ目につかみとりたいものは自分を変えるきっかけです。僕の弱いところはマイナス思考なところ。すぐに落ち込んだり諦めたりすることが多いので、アメリカで言語の違う人たちとたくさん話し、たとえ通じなかったとしてもめげずに試行錯誤する力を身につけたいです。そういう諦めない心が進路決定や受験勉強にも活かされるのではないかと考えています。さらに、英語の能力を高められるとても良い機会であり、新たな環境の元でコミュニケーション力を身につけて自分を変えるきっかけとしたいと思い、応募を決めました。

3つ目は、アメリカ文化と日本文化の良さや共通点を見つけることです。日本には昔から「わびさび」という考え方があります。それは、質素でありながらもそれを美しさにとらえるというものだとよく言われ、日本独自の美しさです。では、アメリカはどのようなことが美しいのでしょうか。また、アメリカにはどんな風習があるのでしょうか。日本から出ずには知ることができなかったアメリカのもてなしや態度をこの目でしっかりと見て、両国の文化をより理解するためにさまざまな見方や概念を学びたいと思っています。日本や多くの国ではグローバル化が進んでおり、どんな職業にも英語の能力が必要とされていて、英語の習得ももちろん大切ですがそれ以上にアメリカの文化を理解し、納得することが大事だと考えました。そのためにホストファミリーと打ち解け、日本文化について話をしてアメリカ文化のこともたくさん聞きたいというのがアメリカに行きたいと思う3つ目の理由です。

現在、日本とアメリカは北朝鮮問題など多くの点でお互い協力し合う関係にあり、

これからも国交を良好に保つ必要があります。ですから、僕はアメリカの人たちとの生活を通して日本とアメリカに共通しているものは何かを見つけ、言語は違っても心が一つという確信を持つことができれば国と国の仲がもっと良くなるはずだと思います。たとえ国を動かすほどの大きな力にはならなくても、人と人を結び付けるものがどのようなものかホームステイを通して見つけることができれば何か周りの小さなことから変えることができ、日本の中で暮らす外国の人はもっと暮らしやすくなり、最終的には日本という国が発展していけるのではないのでしょうか。だからこそ僕は、ホームステイプログラムを活用し、今後の進路を考え、自分自身を変えるきっかけをつかみたいです。アメリカという文化を理解し、日本が海外の人たちからどう見られているのかを知ることで、日本がどうしたらもっと良い国になるのかを真剣に考えていきたいです。